

一般検査

() は
保存温度

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施料	報告 日数	備考	外注先
尿 一 般 検 査	1511 1A990	尿一般定性 1A9900000001901	5 尿スピッツ	尿 5(冷蔵)	試験紙法		尿便 26	1～2	* 1	1
	1A010	蛋白定性 1A0100000001911				(-)				
	1A020	糖定性 1A0200000001911				(-)				
	1A040	ウロビリノーゲン 1A0400000001911				セイジョウ				
	1A055	ビリルビン 1A0550000001911				(-)				
	1A035	pH 1A0350000001911				4.8～7.5				
	1A100	潜血反応 1A1000000001911				(-)				
	1A030	比重 1A0300000001903				1.005～ 1.030				
尿 検 査	1513 1A105	尿沈渣 1A1050000001920	5 尿スピッツ	尿 10(冷蔵)	フローサイトメ トリー法又は 鏡検法		尿便 27	1～2	* 2	1
	2060 1A015	蛋白定量(蓄尿) U-TP 1A0150000004271	5 尿スピッツ	尿 1(冷蔵)	ピロガールレッ ド法	0.02～0.12 g/day	尿便 7	1～2	蓄尿量、蓄尿時間を記入くださ い	1
	2061 1A015	蛋白定量(随時尿) U-TP 1A0150000004271	5 尿スピッツ	尿 1(冷蔵)	ピロガールレッ ド法	30以下 mg/dL	生化 I 7	1～2		1
	2062 1A025	糖定量(蓄尿) U-Glu 1A0250000004262	5 尿スピッツ	尿 1(冷蔵)	ヘキシキナー ゼUV法	0.13～0.50 g/day	生化 I 9	1～2	蓄尿量、蓄尿時間を記載くださ い	1
	2063 1A025	糖定量(随時尿) U-Glu 1A0250000004262	5 尿スピッツ	尿 1(冷蔵)	ヘキシキナー ゼUV法	2～20 mg/dL	生化 I 9	1～2		1

* 1 尿中一般物質定性半定量検査 院内で検査を行った場合のみ算定できる。ただし、尿中一般物質定性半定量検査は判断料は算定できない。

* 2 尿沈渣(鏡検法)、(フローサイトメトリー法) 当該保険医療機関内(院内)で検査を行った場合に算定できる。「D017」排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を同時に実施した場合は、主たる点数のみ算定する。「尿中一般物質定性半定量検査」が「尿中特殊物質定性定量検査」において何らかの所見が認められ、又は診察の結果からその実施が必要と認められて実施した場合に算定する。

※尿沈渣(鏡検法) 尿路系疾患が強く疑われる患者について、保険医療機関(診療所)が衛生検査所等に委託する場合であって、当該衛生検査所等が採尿後4時間以内に検査を行い、検査結果が速やかに当該保険医療機関(診療所)に報告された場合は算定できる。

※細菌顕微鏡検査と尿沈渣(鏡検法)又は尿沈渣(フローサイトメトリー法)を同一日に併せて算定する場合は、細菌顕微鏡検査に用いた検体の種類を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

尿検体の種類について		
種類	内容	適した用途
早朝第一尿	就寝前に排尿し、朝起きがけ一に採尿した尿。尿は酸性に傾き、濃縮され、成分の安定性が高い。	尿一般・尿沈渣・小児から思春期の子供(起立性蛋白の除外)の検査。
早朝第二尿	朝起きがけに排尿し、次に膀胱内に貯留した尿。	早朝空腹時の血糖を反映。骨粗鬆症検査(日内変動をさけるため一定の条件での採尿が可能)
随時尿	任意の時間に採取した尿。尿は希釈傾向にあり、陰性を呈しやすい。	スクリーニング検査
24時間尿	朝起きがけの排出尿は捨て、その後同時刻まで排出した尿をすべて集めたもの	腎機能の評価。1日の摂取食塩量の把握や摂取蛋白質量の推定。